

■西山弥太郎 実業家。鉄鋼一貫生産体制のリーダーシップをとり、戦後経営史ヒーローのトップバッターになった。

にしやまやたろう
郡司千島探検1893＝ 神奈川県吾妻村(二宮町)で、養蚕業を営む旧家の十男に生まれる。
日清戦争始・1894＝ 1歳：

教科書疑獄・1902＝ 9歳：

日露戦争終・1905＝12歳：

アサヒ 創刊・1908＝15歳：吾妻尋常高等小学校を卒業、兄弟多く進学は考えられていなかったが、向学心抑えがたく、
伊藤博文暗殺1909＝16歳：父の許し得て、東京の私立錦城中学3年に編入学、

大逆事件判決1911＝18歳：
明治天皇没・1912＝19歳：卒業。
大正政変・・1913＝20歳：第一高等学校工科に入学、
回りを余儀なくされたが、寮生活を送るうち、のちの官僚らとの人脈も形成される。

民本主義・・1916＝23歳：卒業。 東京帝国大学冶金学科に入学、鉄冶金学を専修、

ベルギー条約・1919＝26歳： 卒業し、川崎造船所入社、神戸葺合工場製鋼掛となる。
大暴落・・・1920＝27歳：
原敬首相暗殺1921＝28歳：

円本時代始・1926＝33歳：結婚。 川崎造船所上製鋼掛主任に昇進、

共産党事件・1928＝35歳：この年、川崎造船所が破綻、初代社長松方幸次郎が退任、海軍の支援で再建される。
世界恐慌・・1929＝36歳：

満州事変・・1931＝38歳：

国際連盟脱退1933＝40歳： 製鉄工場製鋼課長。日本鉄鋼協会学術誌[鉄と鋼]に平炉改造に関する論文を発表して服部賞受けるなど、
技術面に優れ、
芥川直木賞始1935＝42歳：欧米製鉄所視察。

日中戦争始・1937＝44歳：
健保+総動員 1938＝45歳： 製鉄工場所長、
第二次大戦始1939＝46歳：川崎造船所が川崎重工業に改称。

日米開戦・・1941＝48歳：
・・・・・1942＝49歳： 川崎重工業取締役役に就任し、川崎造機社長を兼任。

年金+総武装 1944＝51歳：軍需会社法により製鉄工場生産担当者となる。
敗戦・・・・1945＝52歳：
新憲法公布・1946＝53歳： *経営トップの公職追放で、最年少の取締役ながら経営の中枢を握ることになり、
新憲法施行・1947＝54歳：日本鉄鋼会理事に就任。組合と対決、
極東裁判決・1948＝55歳：日本経営者団体連盟理事、日本鉄鋼連盟常任理事に就任。葺合工場で大争議に発展するも、
三大事件・・1949＝56歳：第2組合が結成されるとともに、詳細な労使合意事項を盛り込んだ協約が締結され、以後の安定。 一貫製鉄
所構想を具体化し、新工場立地調査を指示。
朝鮮戦争始・1950＝57歳： *川崎製鉄が分離独立、初代社長になるや、千葉製鉄所の建設計画を通産省に提出。
独立回復・・1951＝58歳：千葉製鉄所が開設。経済団体連合会理事に就任。
メーデー事件・1952＝59歳：日銀政策委員会に出頭されられるなど、通産・大蔵省はじめとする官僚側の妨害にも屈せず、
TV放送始・・1953＝60歳： 千葉製鉄所第一高炉火入れ、
自衛隊発足・1954＝61歳： *平炉相次いで火入れし、本格的な鉄鋼一貫工場となる。世界銀行借款獲得に奔走。
国連加盟・・1956＝63歳：世界銀行から2000万ドルの借款成立。

インスツラメンツ・1958＝65歳： 第二製鉄所用地取得に奔走。

安保闘争・・1960＝67歳：
タイタイ病始・1961＝68歳： 水島製鉄所開設。藍綬褒章。財界研究所"経営者賞"受賞。

TV宇宙中継始1963＝70歳：渡辺義介賞受賞。

大学紛争始・1965＝72歳：胃癌を切除。日本鉄鋼協会名誉会員。会長を兼任し、最後の株主総会出席、
いざなぎ景気1966＝73歳：再入院し、 *病床で藤本一郎副社長を社長に指名して、会長に退き、没した。